



12月

集落支援だより
vol.47

柱島群島の皆さん、良いお年をお迎えください！



離島地域環境美化交流促進事業・端島連合会



今年の 5 月に引き続き 10 月 30 日（土）、31 日（日）の二日間にかけて「端島連合会」のメンバーによる島の環境美化を目的とした学校グラウンドと農道（歌の散歩道）の清掃作業が行われました。この度は島出身者で構成された 16 名と住民による協働作業となりました。

会のメンバーの方からは「清掃活動を通じて、今まで会話もしたことがなかった島関係の方との交流も広がり、今では互いに情報共有ができる関係となりました。」

また市内在住のメンバーの方からは「島を解散にはしたくないので、定年を迎えたら空き家となっている生家の一部改修し、本土と島との 2 拠点居住の暮らしも考えています。」など、島の将来にとってたいへん明るいお話をお聴きすることができました。

今回も端島にお伺いさせていただき、こうして島のために出身者の方が一丸となって汗を流されている姿を拝見しながら、都市部では失われつつある「人と人との関わり合いの大切さ」を改めて感じることができました。

「やまぐち元気生活圏活力創出事業」柱島の取組



収穫された「さつま芋」の一部は本土の「こども食堂」へ

今年、県の補助事業を活用し、「島づくり推進協議会」が中心となって、島の耕作放棄地を再生利用して「さつま芋」の苗を植えました。

そして9月には、柱島の特産物のひとつである「さつま芋」が写真のようにたくさん収穫することができました。

柱島のさつま芋は、市内のイベントなどで「柱島の特産・石焼き芋」として、皆さんに提供されています。以前、私も食べてみましたが、島特有の潮風にさらされたさつま芋は、**“ほっくりとした食感と甘み”**があり美味しく、家族からもとても好評でした。

なお、収穫された「さつま芋」の一部は市内で運営されている「こども食堂」へ寄贈されたとのこと。

「島づくり推進協議会」の皆さん、お疲れ様でした！



柱島公式ラインは、岩国港の「キップ売場」でも、右のQRコードの読み取りができます。お正月に帰省の際には、ぜひご登録を！



柱島公式ライン